

ふいんてっく通信

～ Vol.12 ～

オープンバンキングでBaaS到来

Fintechとは、金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語です

nikko am
fund academy

オープンバンキング時代が到来し、銀行が持つ基本機能をクラウドサービスとしてAPI※を介してフィンテック企業などに提供するBaaS（Banking as a Service）が拡大しつつあります。今回は、早くからBaaSに取り組む欧州銀行の事例をご紹介します。 ※他のシステムの機能やデータを安全に利用するための接続方式

■ 欧州で先行するBaaS

欧州では、オープンバンキングが2018年に義務化される前から、銀行のオープンAPIを活用したChallenger Bankと呼ばれる新形態の金融機関が登場したり、フィンテック企業との提携や買収などを通じたサービスの提供が行われています。

【欧州の銀行が提供するサービス例】

主な事例であり、すべてではありません

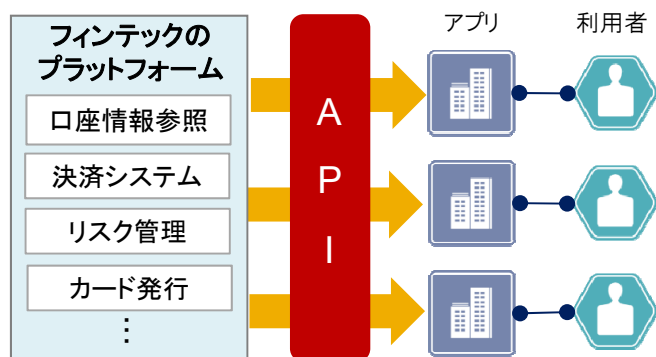
- （英）バークレイズ：契約書類などの重要書類を保管するクラウドサービスを提供
- （仏）クレディ・アグリコル：早くからAPIを公開し、オンライン・バンキングや資産管理アプリなどを提供
- （西）BBVA：銀行のフロント業務特化型企業を買収し、オンラインで銀行サービスを提供
- （独）ソラリスバンク：銀行機能をサービスごとに、API経由でフィンテック企業などに提供

※日本のSBIインベストメント（SBIホールディングス100%子会社）が2017年に出資

■ 日本でも広がりつつあるBaaS

ファッション通販のZOZOTOWNで話題になった「ツケ払い」は、GMOインターネットグループのGMOペイメントサービスが提供する決済プラットフォームで顧客の審査・与信を実行しています。また、同グループのGMOあおぞらネット銀行は、口座情報の参照や入出金取引ができるAPIの提供を行っています。

【BaaSの概念】



このほか、SBIホールディンググループでは、住信SBIネット銀行が家計簿アプリ「マネーフォワード」などにAPIを通じて銀行機能を提供したり、同グループ企業が地域金融機関にフィンテック企業のサービスやシステム導入を支援するAPI基盤を提供しています。

このように、APIを通じて分解された金融機関の機能（アンバンドリング）を上手く組み合わせることで、先進性や利便性の高い多種多様な金融サービスの誕生が期待され、顧客満足度はより一層高まっていくと思います。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものでもありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントがフィンテックに関する情報についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。